

『<sup>わ</sup>環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

|       |            |
|-------|------------|
| 作成年月日 | 平成20年 3月1日 |
| 作成部署  | 土木建築部道路総括室 |

|          |  |      |            |
|----------|--|------|------------|
| 事業名      | 都市計画道路 新浜松原線                             | 構想番号 | (土・道計)構一 一 |
|          |  | 地区名  | 宮津市字本町～字滝馬 |
| 概算事業費    | 67.4億円                                   | 事業期間 | 14年        |
| 事業概要     | L=920m W=16.5m                           |      |            |
| 関連する公共事業 | 中町通地区土地区画整理事業(宮津市)<br>綾部宮津道路事業(京都縦貫自動車道) |      |            |

| ガイドライン    | 主要な評価の視点  | 施工地の環境特性と目標                        | 環境配慮・環境創造のための措置内容   | 環境評価 |
|-----------|---|------------------------------------|---|------|
|           |   |                                    |   |      |
| 地球環境・自然環境 | 地球温暖化<br>(CO <sub>2</sub> 排出量等)<br>地形・地質<br>物質循環(土砂移動)<br>野生生物<br>・絶滅危惧種<br>生態系<br><br>など | 事業地は既成市街地内のため自然環境に対する影響は軽微な状況である。  | 本事業による自然環境に対する影響は軽微であった。  | △    |
| 生活環境      | 水環境・水循環<br>大気環境<br>土壌・地盤環境<br>騒音・振動<br>廃棄物・リサイクル<br>化学物質・粉塵<br>電磁波・電波・日照<br><br>など        | 交通量の増加や工事により予測され、騒音等の発生の抑制に努める。    | 高機能舗装を使用し、市街地内での騒音を抑制した。また、低騒音、低振動型の建設機械を使用し事業を実施した。                            | △    |
| 地域個性・文化環境 | 景観<br>里山の保全<br>地域の文化資産<br>伝統的行祭事<br>地域住民との協働<br><br>など                                    | 道路整備に伴い地域住民から快適な道路環境を整備することが求められた。 | 京街道の歴史と文化をテーマに地域住民の意見を取り入れ、石張平板舗装と街路樹、デザイン照明を自転車歩行者道に配することにより、市街地内の環境空間形成に寄与した。 | ○    |

|        |  |
|--------|--|
| 地域の環境像 | 「21世紀の京街道」をテーマに歴史ある旧街道を再生し、シンボリストリートとして地域住民が誇りに思える景観形成を図る。 |
|--------|--|

|      |                 |
|------|-----------------|
| 特記事項 | 地域住民と修景計画を策定した。 |
|------|-----------------|